研究名　　アントラサイクリン・シクロホスファミド併用療法に対するデカドロンおよびオランザピンの制吐作用の評価

1. 研究の対象

2019 年 4 月から 2024 年 3 月の期間内に AC、EC および ddEC レジメンを投与した患者を対象とします。

2. 研究目的・方法

抗がん剤による悪心嘔吐対策は長時間作用型 5-HT3 受容体拮抗薬や NK1 受容体拮抗薬の発売等により年々進歩しています。オランザピンもその一つであり、海外ガイドラインでも高度催吐性リスクのある抗がん剤投与時にはオランザピン併用が推奨されてきています。当院でも、悪心嘔吐のコントロール困難な患者やステロイドを使用しにくい患者に対して使用は増加しており、2022 年 1 月には乳癌治療に使用するエピルビシンとしクロホスファミド併用療法である dose dense EC（以下、ddEC）の制吐剤としてレジメンに組み込んでいます。そこで、高度催吐性リスクであるアントラサイクリン系としクロホスファミド併用療法である AC 、EC、ddEC に対するオランザピンの使用状況や効果について調査を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報は個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院
研究責任者：薬剤部　生田　和之

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111
担当者：薬剤部　生田　和之
　　薬剤部　加藤　一郎